

令和5年度憲法週間広報行事 ”中学生・高校生“ 知ろう!聞こう!家庭裁判所

憲法週間に家庭裁判所の特集記事を読んでいただいた
中高生からの質問に対する回答を掲載しました。

日直	



Q 家庭裁判所では何をしていますか？（中学1年生）

A

家庭裁判所では、家事事件と少年事件を取り扱っています。

家事事件では、家庭内のトラブルに関する事項を取り扱います。例えば、離婚や遺産相続などが広く知られていますが、それ以外にも、名前の変更や失踪宣告に関する事項なども取り扱っています。

少年事件では、非行をしてしまった20歳未満の少年（少年事件では、男子も女子も「少年」と呼ばれます。）に関する事項を取り扱います。

家庭裁判所では、「家庭に光を 少年に愛を」を設置時の理念にしており、家庭内で発生する様々なトラブルの解決に向けて毎日努力を続けています。



Q 裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、裁判所事務官はどんな仕事をしているんですか？
(中学3年生)

A

家事事件のうち、家事調停という話し合いの手続では、家事調停委員（外部の有識者）と協力し、関係者の人達から話を良く聞いて解決方法を検討します。また、相続放棄などの家事審判という手続では、提出された内容が相当かどうかを判断し、裁判所の結論を書面で示すこともあります。

少年事件では、警察などから提出された資料を読み、少年や保護者から話を聴いたり、家庭裁判所調査官の報告書などを参考にして、少年が非行を行ったかどうか、非行が認められた場合には、再発を防止するためにどうしたら良いかなどについて判断します。

なお、家庭裁判所の裁判官の仕事については、以前に漫画などで掲載されたこともありますので、興味のある人は参考にしてください。



Q 裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、裁判所事務官はどんな仕事をしているんですか？
(中学3年生)

A

家庭裁判所調査官にフォーカスを当てたテレビドラマもあつたりしますので、熱意を持って仕事をしている人という漠然としたイメージを持っているかもしれませんが・・・その通りです。

家庭裁判所調査官は、法律だけでなく、心理学や教育学など人の心や行動についての知識を持っている専門家で、家事事件及び少年事件について調査を行うのが主な仕事です。

例えば、家事事件では、離婚の際、父母のどちらが子どもを引き取るかといったことでもめることが多く、そうした場合に家庭訪問をして子どもの生活の様子を確認したり、子どもから気持ちを聴いたりして、どうすれば子どもの状況や気持ちに沿った解決ができるかを考えて裁判官に報告しています。

少年事件では、非行に及んだ少年や保護者と面接をしたり、学校から情報を得たりして、どうすれば少年が再び非行に及ばないようにするかを考えて裁判官に報告しています。

また、家庭裁判所調査官の仕事に関心がある方は、各地の家庭裁判所が作成した家庭裁判所調査官の動画がYouTubeに掲載されていますし、家庭裁判所調査官を扱った小説も出版されていますので、見たり読んだりしてみると面白いですよ。

Q 裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、裁判所事務官はどんな仕事をしているんですか？
(中学3年生)

A

裁判所書記官と聞いて、あなたは何をイメージしますか？

書記というくらいだから「文書を書く人」というイメージでしょうか？ そのとおりで、あながち間違っていない。

映像ニュース等で法廷の様子が報じられますと、裁判官が座っている檯の少し下に座っている黒い服を着た人がいますが、この人が裁判所書記官です。

裁判手続が適正に行われていることを調書に記載して証明するためにあの場所に座っており、法廷は裁判所書記官が立ち会わなければ開くことができないので見た目以上に重要な事務です。

他にも裁判所書記官は、裁判手続等に関する記録の作成・保管事務、裁判官の行う法令・判例の調査補助事務、当事者が提出した書面の審査事務、期日間の調整事務といったいわゆるコートマネジメントと称される沢山の事務を担当しています。



Q 裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、裁判所事務官はどんな仕事をしているんですか？
(中学3年生)

A

みなさんがよく見聞きするのは、裁判部門で仕事をする人でして、ここまでご紹介した裁判官、家庭裁判所調査官及び裁判所書記官も裁判部門で仕事をする人たちでした。

実は、裁判所には、もう一つ事務局部門があり、民間の会社にもある総務、人事及び経理といった仕事を裁判所事務官が担当しています。

裁判所事務官は、事務局部門で、人的物的側面から裁判部門が円滑な裁判事務を行うことができるようサポートする仕事をしたり、時には、裁判部門に配属され、裁判所書記官の事務補助などを行ったりするなど、いわば裁判所全体を支える縁の下の力持ち的な役割を担っており、裁判所の運営に不可欠な存在です。

次もたくさん質問を待っていますね～。

